



今日から始める マイバッグ

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



市において、1人が1日に出すごみの量が、全国・愛媛県の平均より多い状態が続いています。地球環境を持続可能なものにするため、一人一人の心掛けでごみを減らしていくことが重要です。必要のないものは買わない、食べ残しを減らす、リユース・リサイクルを有効に活用することで、ごみは減らすことができます。



環境のためにできる
身近な活動を続けよう！

おいしい水やきれいな空気など生活に欠かすことのできない大切な地球環境を守るため、私たち一人一人ができることを考え、実践していく必要があります。地球環境問題の解決のために、ごみの削減は避けて通ることのできない課題です。

私たちの日常生活の何気ない行動の積み重ねが、これからの地球環境を決めていくこととなります。

脱プラスチックに向けて

世界的に脱プラスチックの動きが活発になっていきます。このような背景には、プラスチックごみの焼却による大気汚染、流出による海洋汚染、さらには生態系への影響などの理由が挙げられます。

海に流出するプラスチックごみの量は世界中で年間約800万トンとも言われており、国際的な問題に。このままでは、2050年までに海洋に流出したプラスチックの総量が魚の総量を超えてしまうとも予測されています。

このため、使い捨てプラスチックの使用削減と適正な処理が私たちの急務となっています。

レジ袋をもらわずにマイバックを使う、といったことは誰でもできるエコな活動として、これまでも取り組まれてきました。レジ袋を使う人が減れば、石油由来のプラスチックを原料とするレジ袋の製造量を抑えることができ、環境負荷を減らすことにつながります。

使いやすいマイバッグ

容量が多く耐久性があり、マチのあるマイバッグが使いやすく便利です。また、折りたたむ時に自然に形が整うものも重宝します。

気に入ったデザインのものを使うなど、マイバッグならではの楽しみ方も。



過去に実施した店頭キャンペーンの様子



☎ 環境保全課 ☎ 65-1512
 ☎ ごみ減量課 ☎ 65-1252

節約？

環境問題？

脱プラ？

おしゃれ？

エコ？

10月は「環境にやさしい買い物キャンペーン」 「マイバッグ持参推進月間」



令和2年度のマイバッグ持参率
(全体) 81.3%※1

事業者名	持参率※2
イオンリテール(株)	55.6%
(株)木村チェーン	75.3%
生活協同組合コープえひめ	88.2%
(株)ハローズ	75.1%
(株)フジ	83.9%
マックスバリュ西日本(株)	81.4%
(株)ママイ	81.5%
(株)マルヨシセンター	81.3%

※1 報告のあった8事業者 24店舗平均持参率
 ※2 事業者ごとの平均持参率

買い物と環境問題

皆さんは「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題について考えたことはありませんか？ 日常の買い物と環境問題は密接に関係しています。マイバッグを持参する、過剰包装を避ける、詰め替え商品を選ぶなどの行動は地球温暖化防止やごみの削減につながります。

市では、市民・事業者・行政で組織する「新居浜市地球温暖化対策地域協議会」の活動として、マイバッグ持参推進に取り組んでいます。

**マイバッグ持参率80%超え
4年ぶりに達成**

昨年は、目標であるマイバッグの持参率80%を達成することができました。活動は継続していくことが重要です。

なお、この表に掲載されている8事業者は、市などレジ袋削減に関する協定を締結し、レジ袋の無料配布を中止、販売したレジ袋の収益金は、環境保全活動をはじめとする社会貢献活動に活用しています。

「私たち今日もマイバッグ！」

「私たち今日もマイバッグ！」をキャッチフレーズに今年も店頭でキャンペーンを実施します。レジ袋を買わずにマイバッグを使い、地球温暖化防止やごみの削減につなげましょう。詳細は環境保全課まで問い合わせください。

※新居浜市地球温暖化対策地域協議会と新居浜市レジ袋削減推進協議会が合同で実施します



10月1～7日

キャンペーン実施店舗でコットンバッグを配布します！